



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 知事と避難者との意見交換会/映画上映会
- ・山形県 笑う門には福来る!新春落語会&交流会開催
- ・福島県 国見町 新庁舎完成
- ・Special Interview 株式会社鈴木酒造店 長井蔵 鈴木大介さん
- ・しあわせココロのつくりかた(42)
- ・おすすめ情報 ・レシビ ・団体紹介 ・編集部より

第70号

つながろう!ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数:3,000部

知事と震災避難者との意見交換会

1月20日(水)に米沢市役所にて「知事と震災避難者との意見交換会」が開催されました。意見交換会は今回で7回目となり、会場には宮城・福島県から置賜地方に避難された男女7名の方と、山形県知事、米沢市長はじめ福島県など行政関係者が出席しました。

冒頭で吉村知事は「避難生活をめぐる状



況は大きな転換点を迎えています。それぞれの地域で安心して生活できるように、できる限りの支援をしたい。」と挨拶され、続いて避難者の方々が、山形県への受入れや意見交換の機会に対するお礼とともに、自身や家族の置かれている状況や要望などを知事に伝えました。

参加者からは、29年3月で終了される避難指示区域以外からの避難者への借上げ住宅の延長を求める声が複数あり、「原発の廃炉まで30〜40年かかるのに、長期スケジュールが見えない中、借上げ期間が6年では短い。知事からも福島県や政府への働きかけをお願いしたい」といった意見や「食の安全に不安を感じている。食品の放射線検査についてのホームページをもっとわかりやすく公開してほしい」などの意見とともに、山形で暮らす際の支援や、新たに開業する際の助成制度の情報提供などについての要望も寄せられました。

終了後、知事からは「住環境はとても大事なことだ。県としても定住希望者に対しては市町村と連携して進めたい。住み慣れたところを離れ、自分ではどうすることもできず、不自由している方々も多いと思うが、一人ひとりの環境を考慮してできる限りのことをしたい」とのコメントがありました。



【復興支援】ドキュメンタリー映画上映会

土徳流離(どとくりゆうり)ー奥州相馬復興への悲願ー

日時: 3月15日(火) 開場 11:00 上映 12:00

会場: 遊学館ホール(山形市緑町1-2-36)

震災復興への支援として500円お願いいたします。

プログラム:【前編】-はるかなる山河をこえて-(100分) 前編終了後、休憩
【後編】-無量の時のあなたたちへ-(100分)

<推薦人(一部ご紹介)>

☆鎌田 實(医師・作家) ☆玄侑 宗久(芥川賞作家・三春町在住) ☆柳 美里(芥川賞作家・南相馬市在住)

[主催] 浄土真宗本願寺派山形組・(一社) 相馬報徳社

[お問合せ] (一社) 相馬報徳社 事務局長 畠中 TEL: 080-5562-3335 E-mail: satobatake@ybb.ne.jp

あらすじ:

奥州相馬・旧相馬中村藩には江戸時代の末、天明の大飢饉などのどん底から復興を遂げ、その原動力となったのが北陸方面からの『浄土真宗門徒の移民策』、二宮尊徳の『報徳仕法導入』でした。千葉県から移住した相馬氏が740年に渡りこの地を治めてきた歴史をたどり、繰り返されてきた悲劇の歴史に想いを寄せ、復興への手がかりをつかみます。

From 山形

寄稿

笑う門には福来る！
新春落語会 & 交流会開催



武勇伝が、徐々にポロを出す演目を披露。二席目は、相撲観戦中に錯綜する人間ドラマの落語で、参加された方は、軽妙に語られるオチに、お腹を抱えて笑っていました。

落語が終わった後、笑助さんと交えての交流会がおこなわれ、「こんなに笑ったのは久しぶりだ！」という感想や、「笑助さんはテレビで見るとイケメンだね！」「そうでしょう！」などの掛け合いもあり、終始和やかな時間でした。生の落語をこんなに身近に聞ける機会はなかなか無いので、関係者共々貴重な経験でした。

(浪江町復興支援員 渡邊)

1月22日(金)、山形市避難者交流支援センターと浪江町の共催で、「東北住みます落語家」として現在山形県で活躍中の、笑福亭笑助さんをお呼びして「新春落語会&交流会」が開催されました。

笑助さんは、笑福亭笑瓶さんの一番弟子で、二十歳の時に弟子入りをしています。

日頃テレビで見ている笑助さんが、軽快な出囃子と共に登場すると、会場は大盛り上がり。

一席目は、ホラばかり吹く男の



From 福島

寄稿

国見町 新庁舎完成



バリアフリー化、太陽光パネル、木質ペレットボイラー、LED照明の導入、トイレ洗浄水に雨水を活用するなど環境への配慮にも力を入れています。庁舎を木質化することによって、温もりのある役場として町民に親しまれています。

町の名産であるあんぽ柿は、震災後の放射線量を懸念し、数年は生産自粛をしていましたが、現在はしっかりとした基準のもと、安全と信頼のある名産品づくりを目指してあんぽ柿生産は回復しつつあります。空気の澄んだ冬の青空の下で、美しい橙色の柿が光る景色はとても美しく、古き良き田舎の風景として心を和ませてくれます。

(わか)

国見町は福島県中通り地方、宮城県との県境に位置する町で、源義経と奥州藤原氏が対決した阿津賀志山がそびえ立つ町です。

震災時、町は震度6強を観測し役場庁舎は被災。役場機能は町内の文化センターに移動し、震災から4年が経過した2015年5月に新庁舎は完成しました。新庁舎は、災害時に避難場所として活用できるよう防災拠点機能を備えている他、議場の机やイス、来庁者用のイスなどに国見産の杉材を使用



おすすめ情報

311 ミーティング 2016 ～ 5年目の記憶～

震災を経験した方の当時の体験や、これからに向けて感じる事をお話いただき、これからどう向き合っていくのか、一緒に考える機会をつくります。

日時：3月5日(土) 13:00～16:00

場所：山形市男女共同参画センター 5F
(山形市城西町2丁目2-22)

参加費：無料

ゲストトーク①避難区域から避難している方
②郡山出身・橋本彩子さん

ワークショップ：「あの3月、私が感じた事」

【お申込み】メール：311volunteermeeting@gmail.com

【お問合せ】TEL：080-5560-0548 (多田)

主催：311 ボラ meeting 共催：ぷらっとほーむ

『首相官邸の前で』上映会&トークシェア @ やまがた

社会学者・小熊英二が監督となり、東日本大震災にわきおこった脱原発デモ取材したドキュメンタリー映画『首相官邸の前で』。上映後、感想や意見、考えた事などを語り合うトークサロンを開催します。

日時：3月19日(土) 上映 14:00～15:50 (会場 13:30)
トークシェア 16:00～17:30

場所：山形市男女共同参画センター 5F
(山形市城西町2丁目2-22)

【お問合せ】TEL：080-1836-1981

メール：takiguchi@gmail.com

主催：ぷらっとほーむ 担当：滝口克典

「楽しい音楽教室」開催のお知らせ

本格的なホールで音楽と親しむ絶好の機会です!! サポートの大学生と一緒に学んだり遊んだり楽しい時間を過ごしてみませんか? 皆様の参加をお待ちしております。

日時：3月13日(日) 9:30～(2時間程度)

場所：山形大学小白川キャンパス・山形大学文化ホール
(山形市小白川町1-4-12)

参加費：100円(保険代)

対象：小・中・高校生(定員30名 先着順)

申込方法：参加者名・学年・連絡先を明記の上、メール・電話・FAXでお申し込み下さい。

申込締切：3月11日(金) 11:00まで

【お申込み・お問合せ】

寺子屋子ども大学事務局 山形大学都市・地域学研究所事務局

TEL & FAX：023-628-4871 (担当：結城)

090-4559-7623 (松尾)

E-mail：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

「みんなの声」につぶやきを送ろう



スマホや携帯で
QRコードを
読み取ってね

みんなの声 募集中!

投稿ハガキ、もしくは携帯やパソコンからも投稿していただけます。

誰かに聞いてほしい一言や、最近考えていること、今の暮らしのことなどを、伝えてみませんか?おまちしています!



山形県に避難しているすべての方へ

モバイル、スマホOK!

つながろうNET

<http://tsunagarou.net/>



シアワセココロ しあわせココロのつくりかた (42)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

「ただいまー」と元気な声で帰って来てくれる。そんな当たり前のように感じる日常は、決して当たり前なんかじゃない特別な愛すべき時間。

人間だもの、足りないのは当たり前。出来ることより、出来ないことの方が本当は多い。出来るフリして驕り高ぶるより、出来ない自分を認めて、素敵に学び、補い合えたらいい。

愚痴や文句に明け暮れるくらいなら、気付きのための祈りの言葉に変える方がいい。

意地悪な自分なんか本当は嫌いなんだから、意固地にならず、優しさに素直になった方が楽に生きられる。

当たりの時間なんてひとつもないからこそ「ああ、こうすれば良かった」という後悔を積み重ねないように、今とこれからを生きればいい。

毎日の時間の中で、精一杯生きていく。

ありがとうで繋がって、ありがとうで紡いでいこう。

明日も光が射していることを信じて。



カウンセリング・ルーム メール相談：ryokusuinomori@yahoo.co.jp

Special Interview

長井市

株式会社鈴木酒造店 長井蔵

すずき だいすけ
鈴木 大介さん



Q 震災前・震災時はどこで過ごしていましたか？

浪江町出身です。震災の時は、消防団員として、ぎりぎりまで避難誘導をしていました。しばらくは家族とも会えず、米沢の避難所で再会する事ができました。家とお店は津波に流され、避難中に98歳だった祖母を亡くしました。

Q お店を始めるきっかけは？

米沢で過ごしている間は、お店をたたくことも考えていましたが、浪江町には戻れない事も当時から考えていましたし、浪江町の人達に「浪江のものを残してほしい。」と言われ、酒造りの再開を考えました。

震災から一ヶ月後、県警が捜索に浪江町に立ち入った時に、以前の取引先の農家の家族が凍死で発見されました。「すぐに救助できていれば。」という悔しい気持ちと共に、「自分が酒造りを続ける事は、震災で亡くなられた、浪江の酒造りに関わった人達の人生の意義を残すことにつながるのではないか。」と自分の中に決心がつきました。阪神大震災を経験した取引先の方に、「半年以上、『被災者』でいたら商売人としては終わりだぞ。」とアドバイスされた事も、自分の中に残っていたと思います。

当時は酒蔵を再開する場所を福島県内か、県外にするかで迷っていましたが、「場

所よりも、早く再開できる場所の方が浪江の人たちへの励ましにもなるのではないか。」と考え、2011年10月に長井市で酒蔵を再開しました。

Q お店を始めてみて、どうですか？

長井市に避難している方々と市民が作ったお米『さわのはな』で『甦る』というお酒を造り、売り上げの一部を地元への支援団体や、学校などに寄付しています。

また、長井市の「レインボープラン」に影響を受け、自分の酒造りも循環するような仕組みをつくりたいと思い、自分の酒蔵で出た酒粕を浪江町で行われているお米の試験栽培の肥料に使ってもらおう計画をしたり、長井市内で酒粕入りお菓子などにも利用してもらっています。浪江町の中学生が浪江町の家庭料理を学ぶ機会にも関わり、浪江町の食文化を残すことにも貢献できたらと考えています。

長井市は全国でも有数の水質の良さを誇る場所。在来種も多く残っています。



長井市の友人の家で在来種「花作大根」の紅花漬けがお茶うけで出された時、この土地の人が残してきたこの土地ならではの歴史を感じました。浪江町の文化を繋ぐ難しさを実感している分、自分もこの土地の水を生かし、長井市のを次の世代に残していく事に貢献したい、という気持ちが生まれてきました。

今年は、別棟に蔵座敷を整備して、全国から酒蔵に来る人たちへ「酒」「蔵」「食」の三つのキーワードで雪国の良さや長井市の食文化を伝える場所にしたいと考えています。

避難している方へのメッセージ

自分の地区では、一割の人が亡くなりました。たまたま自分の家族は助かることができ、辛いながらも前を向いてきました。できる人が、できる分だけ、地道に未来志向で時間を積み重ねてゆくことが大切だと思います。

自分はこれまでたくさんの方に助けてもらってきました。色んな人に支援をしてもらってきた分、助けてくれた人や社会に、何かしら恩返しをしていきたいと思っています。

株式会社 鈴木酒造店 長井蔵

〒993-0015 山形県長井市四ツ谷 1-2-21

TEL : 0238-88-2224

FAX : 0238-88-3503

E-mail : info@iw-kotobuki.co.jp

WEB : http://www.iw-kotobuki.co.jp/

おすすめ情報

県内各地の追悼・復興祈念イベント

村山地区

東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）

東日本大震災から5年を迎え、改めて犠牲となられた方々を追悼し、東北の復興を願う、キャンドルナイト「追悼・復興への祈り」を開催します。

日時：3月11日（金）16:00～20:00

場所：「文翔館」前広場・議場ホール（山形市旅籠町3-4-51）
内容：キャンドル作り（16:00～）、オープニングセレモニー（17:00～）、キャンドル点灯式、温かいスープの振る舞い等

【お問合せ】

「東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）」実行委員会事務局（山形県復興・避難者支援室） TEL：023-630-3100

東日本大震災五周年 追悼・復興祈願式

今なお1,200人以上の方々が避難生活を送られている山形市において、千年和鐘を打鐘し、犠牲者の追悼と東北の復興を祈願します。

日時：3月11日（金）14:40～

場所：山形市役所「千年和鐘」前

内容：国主催の東日本大震災五周年追悼式の同時中継、黙とう、「千年和鐘」打鐘

主催：山形市

【お問合せ】

山形市総務部防災対策課 TEL：023-641-1212（内線216）

東日本大震災 平成28年 慰霊並びに復興祈願法要

日時：3月5日（土）14:30～16:00

場所：圓應寺（エンノウジ）（山形市宮町四丁目16-33）

参加対象：

- ・山形県内に避難されている被災者の方々とその関係者
- ・地域住民の方々
- ・真言宗智山派寺院檀信徒・住職等有志

内容：

- ・殉難者慰霊・復興祈願 ご詠歌奉詠
- ・山形に避難されている方のお話し
- ・山形マンドリンアンサンブルによる癒しの演奏

参加費用：ありません 但し、会場に義援金箱を設置します

【主催・お問合せ】

真言宗智山派大慈山圓應寺

TEL：023-622-3937（夜間は8時まで）

置賜地区

平成27年度 東日本大震災復興祈念事業（米沢会場） ～真心に希望を込めた復興を！山形から！～

日時：3月11日（金）13:00～15:30

場所：伝国の杜 置賜文化ホール

内容：コンサート、合唱、式典
追悼式（パブリックビューイング）

※慰霊献花台を準備しております。

（献花受付 10:00～18:00）

※時間、内容は予定です。詳細はお問合せください。

【お問合せ】

置賜総合支庁 総務課（担当：高橋・阿部）

TEL：0238-26-6007

庄内地区

平成27年度 東日本大震災追悼行事

期日：3月11日（金）

【復興祈願祭】

時間：14:00～15:00 場所：出羽三山神社（鶴岡市羽黒町）

【お問合せ】 出羽三山神社事務所 TEL：0235-62-2355

時間：10:00～11:00 場所：三瀬気比神社（鶴岡市三瀬）

内容：復興祈願祭

【お問合せ】

三瀬地区自治会・三瀬気比神社氏子会 TEL：0235-73-2001

【打鐘】

時間：14:00～15:00 場所：吉祥寺（鶴岡市板井川）

内容：犠牲者追悼の打鐘

【お問合せ】 龍蔵寺 TEL：0235-22-7886

【追悼式典】

時間：14:30～15:30

場所：鶴岡アートフォーラム（鶴岡市馬場町）

内容：メッセージの書き込み、若者による未来へのメッセージ、黙祷、鶴岡市長挨拶、鶴岡市社会福祉協議会の取り組み紹介

【お問合せ】

5年目のキャンドルナイト実行委員会 TEL：0235-28-2880

【キャンドルの夕べ】

時間：19:00～20:00

場所：鶴岡アートフォーラム（鶴岡市馬場町）

内容：キャンドルの点灯・合奏や唱など

【お問合せ】

5年目のキャンドルナイト実行委員会 TEL：0235-28-2880

【お申込み】 3月8日までご連絡ください。

鶴岡市社会福祉協議会 TEL：0235-24-0053

酒田に震災復興を応援する光を灯そう 5年目のキャンドルナイト Candle Night in 中町

東日本大震災から早5年。あの災害を風化させず復興を応援するために、酒田でキャンドルを灯し被災地に祈りを届けましょう。

日時：3月11日（金）18:00～20:00

場所：酒田市 中町通り

・当日の受付、キャンドルの設置、後片付けのボランティア募集！
当日17:30までチャレンジショップふれっしゅまでお越しください。

・当日15:00～17:00にチャレンジショップふれっしゅでキャンドルに震災復興への応援メッセージを書くワークショップを行います。ぜひご参加ください。

主催：生涯学習施設「里仁館」

共催：東北公益文科大学 中町中和会商店振興組合 中町通り商店振興組合 酒田市社会福祉協議会

【お問合せ】 生涯学習施設「里仁館」

TEL：0234-61-4361 メール：rijinkan@theia.ocn.ne.jp

みなさまからの情報をお寄せください！

・・・詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ・・・

ひと休み

野菜の栄養がたっぷり

赤根ほうれん草春雨スープ

レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料> 6人分

- ・赤根ホウレン草 1/2 束
- ・春雨（もどしたものの） 150g
- ・にんじん 1/2 本
- ・しめじ 50g
- ・たまご（錦糸卵） 2個
- ・生姜 1片
- ・サラダ油 小さじ1
- ・湯（中華スープ） 5カップ
- ・酒 大さじ2
- ・塩 小さじ1/2～
- ・ごま油 小さじ1

<作り方>

- ① 赤根ホウレン草は根本に切り込みを入れ、さっと茹でて水に取り、食べやすい長さに切る。（3～4cm）
- ② 春雨はたっぷりの熱湯に、約3分漬けて戻し、食べやすい長さに切る。
- ③ にんじんは短冊切りにし、しめじはほぐしておく。生姜はみじん切りにする。
- ④ サラダ油で生姜を香りよく炒め、しめじ、にんじんを加えてさらに炒め、スープを加え調味料を入れる。赤根ホウレン草、春雨を加え、火を止めて、ごま油を入れて仕上げる。
- ⑤ 器に盛り、錦糸卵を添える。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ <http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介 マザー・ウイング ふくしまママの会「きびたん's」



マザー・ウイングでは、震災をきっかけに福島から仙台に来た子育て世代が集まれるよう、ふくしまママの会「きびたん's」を2011年秋から開催しています。

開催当時は震災をきっかけに福島から仙台に来た親子が集う場所として賑わっていましたが、今では、震災をきっかけに仙台に来た親子はもとより、「ふくしま」をキーワードに様々な理由で仙台に来た乳幼児親子が集まり、情報交換をしています。「きびたん's」では、絵本の読み聞かせや季節に合わせたイベントを行ったり、子どもをスタッフや学生ボランティアが見守りながら、参加するお母さん一人一人がじっくり話せるような時間もと、「ゆっくり、ゆったり、なにげなく」

をコンセプトにサロンを開催しています。仙台に来る予定の方や「ふくしま」をキーワードに集まりたい方、ぜひお気軽にお越しください！

マザー・ウイング ふくしまママの会「きびたん's」

開催日時：主に第3水曜日 10:30～12:30

場所：仙台市子育てふれあいプラザ のびすく泉中央
（仙台市泉区泉中央1丁目8-6 仙台市泉図書館3階・4階）

対象：福島から宮城に転入してきた乳幼児親子

参加費：無料 ※事前予約が必要です



お問合せ
はこちら

一般社団法人マザー・ウイング（仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央）

TEL：022-772-7341（10:00-17:00 月・祝の翌日を除く）

ホームページ：<http://www.mother-wing.org.jp>

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

復興ボランティア
支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は**3月16日**発行です

情報提供や寄稿は、
3月2日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております！



避難者向けフリーペーパー「うるるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>



平成28年山形市「成人の祝賀式」実行委員会様が、今年の新成人の皆様より集めた書き損じはがきを切手に替え、82円切手45枚を寄贈してくださいました。うるるかむの郵送などに大切に使用させていただきます。ありがとうございました！

- * 鈴木酒造さんのお酒、美味しかったです！3月11日発売の『甕る』も楽しみます！（多田）
- * 今月の「みんなの声」はお休みです。切実に募集しております。（サチ）
- * カレーの味が上達。普通の味でも炊き立てご飯と空腹でうまさ倍増！（結）
- * 節分を迎え、毎年恒例家族で豆撒きをしました。☆福☆いっぱい来るといいなあ…。（きよつぺ）
- * 久しぶりに編み物がしたくなり、余暇を見つけては編みまくってます。楽しい〜♪（海）